

# 佐高教新聞

**Sakoukyo**  
佐賀県高等学校  
教職員組合

〒849-0916 佐賀市高木  
瀬町東高木227-1  
発行人 佐賀県  
高等学校教職員組合  
TEL 0952-31-7711  
FAX 0952-31-7713  
メール: sakoukyoso@  
chime.ocn.ne.jp  
<http://sakoukyoso.s1008.xrea.com/>

## ● 春闘要求 県教委交渉

6月3日(金) 14:30～15:30 佐賀県市町会館

今度最初の県教委交渉です。積極的な参加を!

(交渉参加は職免扱いです)

# 一人一人の願いが結び付いた組合へ



ウクライナの国花「ひまわり」。ウクライナで半世紀前に撮影された映画「ひまわり」が今、反戦を訴える作品として全国各地で上映中です。佐賀市のシアターシエマにて5月6日から上映されます。

ロシアによるウクライナ侵攻。力が正義の時代に逆行した蛮行に多くの人が悲しみと不安を抱え、一方でロシア国内を含め世界各国の人々が、プーチン大統領への抗議、ロシア軍の無条件撤退を求めて声を上げています。

連日の報道に目を覆いたくなる悲惨な現状に、私たちはどう向き合っていけばいいのでしょうか。今起きている出来事を、同僚や友人、生徒たちとともに考え、語りあうことが今こそ求められていると思います。力には力で対抗するしかないという抑止力の考えをいかに乗り越え、戦争の発生を防ぐ「外交の力」にリアリティを持たせることが必要です。

こういうことを言えば、それは理想論だと返されることがあります。現実とのギャップに無力感を

感じることもあるでしょう。しかし、理想をもとめて努力を重ねることを呼びかけたいと思います。

日本国憲法前文には「われらは、平和を維持し、専制と隷従、圧迫と偏狭を地上から永遠に除去しよう」と努めてある国際社会において、名誉ある地位を占めたいと思ふ。われらは、全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免かれ、平和のうちに生存する権利を有することを確認する」と記されています。改めて憲法を意識してみませんか。

学校現場の仕事において、働き方や生徒の学びにおいても、理想を求めていく積み重ねの実践を一人一人の願いと結び付けて、形にしていきたいと思います。それが組合の理想です。

## 2022年度 執行部紹介

3月25日、選挙管理委員会は組合員による2022年度役員選出に関する信任投票の開票作業をおこないました。いずれの候補者も定足数を満たしていました。4月2日に第1回執行委員会を開催し、教職員をめぐる情勢の論議の中で、職場の実態と照らし合わせて意見交換を深めました。現場の要求を運動方針に結び付けていきたいと考えています。皆さんの願いや思いをぜひお聞かせください。



【後列・左より】若芝亮(書記次長・伊万里実商定)、田口弘毅(執行委員・伊万里特別支援)、山口次次(執行委員・白石高校商業)、川崎秀樹(執行委員・鳥栖工業定)、坂本由利子(執行委員・金立特別支援)、【前列・左より】力武淳也(執行委員・中原特別支援)、松尾敏宏(書記長・専従・唐津南)、永尾実(執行委員長・専従・非在籍)、馬場崎誠一郎(副委員長、義務制)

【監査委員】田中良尚(鳥栖商業)・吉田さつき(中原特別支援)

【書記】田中龍一郎、古川弘美、水田恵



# 「本当に知らなければならぬことを どうやって伝えていくか」

3月26日、全教が主催する憲法学習会がオンラインでおこなわれました。講師の三上智恵さん(ジャーナリスト・映画監督)が沖縄の現状と、戦争を止めるため何が必要かを語りました。講演の要約をお伝えします。

沖縄ではリアルな恐怖が感じられる。台湾有事⇨日本有事という論調は、日本が戦場になることだ。中国と台湾が軍事的に衝突するかどうかは、中国の国内問題のはずなのに、台湾が中国にとられたら西側にとってあぶないと強調されている。

ロシアのウクライナ侵攻の様子や、ゼレンスキー大統領の演説を受けて、国のために戦うことが賞賛されている。かねてより教育に対して滅私奉公が足りない、国のために戦う子どもに育てよと介入する動きがあった。グローバル経済社会を支える子どもや、戦場に喜んで行く子どもを育てることを目標にするのは、教育の目標として根本的に間違っていないか。

憲法9条を守ることが最終的目標になってはならない。集団的自衛権の行使を許し、すでに憲法違反の状況が進行しているのに、9条を守れというだけでは足りない。とつづくに戦争をする国になっている。相手より強い武器を持ち、軍事で威嚇することが抑止力だという。今こそ軍事的でない抑止力とは何かを子どもに伝えてほしい。憲法は戦力を持たないと言っているのに、実際は持っている。

憲法の理念は素晴らしいが機能していない。日本は座して憲法を与えられたから、その価値がわかっていない。取り上げられようとしても何も思わない。沖縄は25年間守ってくれるものがなく、「憲法とは暗闇の先の灯台」といわれてきた。あそこに行けばいいのだ

と思えるもの。憲法の理想と現実のギャップを考えることを、子どもたちとやってほしい。政治的じゃないことはこの世にない。考え方の違う人たちが、互いに安心して生きていくために努力する過程が政治。政治的な話をする場ではないと言われることがあるが、臆することなく話していかないと。

日本の国土を戦場にしてはならない。「悪いのはアメリカ軍⇨沖縄の基地問題」と思ってきたが十分ではなかった。日米安保と地位協定がある限り、一つの県に負担を押し付けることが変わらない。アメリカは南西諸島を中心とした第一列島線から中国を外に出さない作戦をたてている。この国で戦争することを想定している。中国脅威論をかきたて、日本全体がアメリカに言われたとおりに自衛隊を配備している。軍隊がいた方が安心するという病に侵されてい

る。沖縄戦で軍隊は住民を守らなかった。自衛隊は有事の際に国民を守らない。核共有を強調する人がいるが、日本にアメリカの核兵器を置くこと攻撃対象になり、住めなくなること認識しなければ。

本当に知らなければならぬ事をどう伝えていくか。ただある「人ごと感」。想像力、共感力の欠如を乗り越えなければ。いまある戦争を止められないで、何のための平和学習か。広島・長崎・沖縄を訪れて、こんな被害にあいたくないねと被害だけ学ぶ。これでは平和学習の半分もやって

いない。戦場になるまでカウントダウンが始まっている。絶対に攻め込まれない国になるために、知恵を出し合ったことがあるか。失敗することがわかっていたら敗北感に向き合うのが人間は下手。どうにもならないものに向き合えずぎると、心を病む。先生には子どもたちの風よけ(沖縄の言葉で、かじかたか)になって欲しい。社会の出来事に鈍感力はあつて当然。だから人間は少し考える。社会は人が作るから、変えられると信じている。

## 平和活動を地域から広げるために協力しています



「オスプレイ配備反対地域住民の会決起集会」今だけ・金だけ・自分だけでいいの、かと怒りの声(4月3日、佐賀市南川副)

県労連「憲法改悪反対」宣伝。シール投票で高校生と対話しました(4月4日、佐賀駅南口)

原水協「核兵器禁止条約に日本政府も署名を」宣伝行動に参加。高校生も署名しました(4月6日、佐賀駅南口)



# 春募集 受付中

「2022年版パンフレット」  
必ずお読みください！  
(今号の新聞に同封)



ご不明な点はお問い合わせください  
共済直連 (0952) 30-0885【担当:古川】

## 5月1日(日) 第93回メーデー

佐賀中央メーデー 佐賀駅南側 まちかど広場 11:00~  
三神地区メーデー 鳥栖駅前 14:00~  
杵藤地区メーデー ゆめタウン武雄前 14:00~  
(唐松地区は開催されません)

## 九州労働金庫 20周年感謝祭



「九州ろうきん(労働金庫)20周年感謝祭に応募していたのですが、なんと1万円のカatalogギフトに当選しました！」  
(馬場崎誠一郎さん(副委員長・中学校勤務))

高教組は組合員の皆さんに九州労金の口座開設・利用促進を呼びかけています。

九州労働金庫は「昼休業制」を実施します  
時間 11:00~12:00

2022年7月4日より、小城多久支店・鹿島支店・武雄支店。2023年度より(運用開始日は未定)鳥栖店・唐津支店・伊万里支店の計画です。昼休業時間帯は店舗出入りが閉まります。

休み時間をしっかり確保する。その流れを確かなものにしたいですね。

## 安心・安全のたよれるスタッフ! 組合員のための自動車保険 佐高教自動車共済 提携業者の紹介



【鳥栖・佐城・杵藤地区】ライフネクスト  
電話 0952-28-7131  
【上列左より】池田和康、井上貴文(代表取締役)、立石洋平  
【前列左より】中島みゆき、安永真沙美

【唐津・伊万里地区】ライフマスター  
電話 0955-77-4731  
【上列左より】青木一之、松岡浩司(代表取締役)、早田茂、龍奈津子  
【前列左より】岡部陽輔、大塚正弘

みなさんと普段からお会いできればいいですね。今回は紙面紹介です。交通事故がないよう安全運転を。

佐高教組顧問弁護士による無料法律相談 随時受付中! (担当:佐賀中央法律事務所 まずは高教組へお電話を)